

福祉のひろば

《スローガン：見守り、声かけ、身近に寄り添う真野学区！》

ご挨拶

ふれあいと思いやりは、生きる力

真野学区社会福祉協議会 会長 井上俊生

■令和4年も早や3月、コロナに翻弄されない平穏な一年であることを願い、新年を迎えました。早々から「オミクロン株」による第六波の感染拡大は、私たち真野学区においても急激に広がりを外出の自粛などによる淋しさや不安を感じながら、コロナの恐怖と戦う日々を送る事となりました。

■こうした中であって、地域の福祉委員、民生児童委員の皆さんには、完全な感染防止対策を講じたうえで、高齢者のふれあいと交流の場となる「ふれあいサロン」を開催いただくとともに、子ども達への「声かけ、見守り」も年間を通して実施いただきました。

福祉の全てはサロンから

社協顧問 上田駒一郎

■私も夫婦は、ともに91歳です。私は昨年尿路カンを発症し、妻も心臓にスラントを入れています。また最近、共にボケの症状を自覚する様になり、車の免許は返納しました。こうなると福祉制度のお世話にならざるを得ません。今では訪問看護師さんとヘルパーさんのお世話になっています。

■幸いにも長男夫婦や次男が近くにおり、何かと援助を受けながら、私たちと福祉利用の架け橋となってく

お元気ご長寿さん

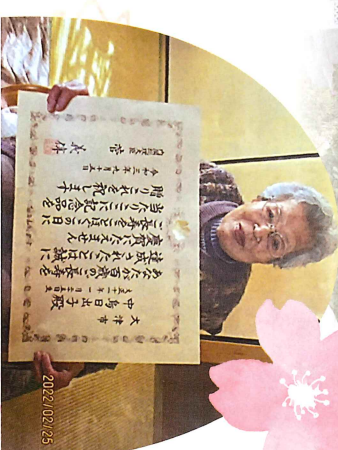
中島日出子さん

大正11年1月25日（100歳）
大津市真野大野一丁目在住

■100歳のご長寿を達成され、昨年は、内閣総理大臣、滋賀県知事、大津市市長などからお祝いを受けれ、ご家族の皆さんからも「長生きしたね」とお祝いの言葉をかけられ大喜びだったようです。

■福岡県で誕生され、12年前に89歳で他界されたご主人との間に3人のお子さんに恵まれ、子育てをしながら、その間、ご主人の転勤で北海道、滋賀県、京都府と居住を経て、35年前縁あって、真野大野団地に住まいを構えられました。現在は、長男夫婦とともに生活されています。

■只今は、週1回のデイサービスに通われリハビリや利用者との会話、ゲームなどが楽しいようで、喜んで



行かれています。

■自宅では、伝い歩きしながら身体を動かし、家族の介護を受けることなく、入浴をされています。食事も好き嫌いなく何でも美味しく食べられ、中でも茶碗蒸しが好きだそうです。

■自宅の庭に咲く草花の手入れをされているところをよく見かけます。お花が好きで、早春の草木の開花を心待ちにされています。暖かくなって庭の花のお手入れをされている元氣な姿にお目にかかりたいです。

■最近、ご家族に「九州の姉妹に会いに行きたい」と話されているようです。まだまだ意欲満々だそうです。

助』があります。この『近助』は『共助』の次に入ることです。

■在来 の地域には近所同士の長い歴史があり、馴染みがあり、親類縁者もいます。でも新しい地域にはそれがありません。「遠くの親戚よりも近くの他人」といえども馴染みが伴わなければ無理な話です。「ふれあいサロン」はその馴染みをつくるために大きな役割をになっているように思います。

■私たちのサロンは発足してから20年程になります。在宅生活の我々高齢者にとって、一週間に一度近所で集まるサロンは、何よりも心の癒し

になっています。いろいろな情報が入ってくるのもよい刺激になります。高齢になればなるほど、友達が亡くなり、心の通い合う仲間が少なくなります。これを補うのもサロンです。サロンは楽しいばかりでなく生き甲斐にも繋がります。みなさんも是非サロンを楽しんでください。自分たちの都合や好みに合わせてサロンで良いと思います。みんなが話し合い、笑い合う場所が必要です。そこから『近助』が始まります。長年サロンに参加してきたの思いを綴ってみました。

コロナ禍に

●他人事と思っていた感染がわが家にもやってきた。幸い症状は軽く自宅療養で元氣になった。久しぶりの登校となった小学生的の孫に学校の様子をたずねると「楽しかった」と元氣に帰ってきた。

●長期の休みで「コロナにかかったやろ」といじめられるのではないかと心配していたが、そんなことを詮索する子はどれもいなかったようで、ほっとした。それでも世間ではコロナに感染した

ことを隠したい風潮はまだ根深くある。家庭内感染も多く、一人が感染すれば家族みんなが感染してしまうほどの威力がある今回のコロナ。長期の自宅待機で、買い物もままならない家庭も多いのではないか。もう少し意識が変わり感染をオープンにできれば、買い物や食事の準備など地域の中で担えることもあるのではないか。自粛生活で買物にも行けず困っている人には、市から郵送してもらえる制度もあるが時間もかかる。それよりも身近な地域で助け合えればよいと思った。

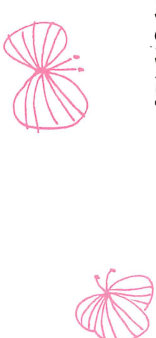
福祉委員として 一年を振り返る

●今年も福祉委員としての活動を開催することができず残念に思います。この2年間皆さんは、感染対策のために

きる限り協力し、頑張ってこられたことが、時には心が折れそうに感じることもあるのではないだろうか。

●いつになれば元の生活に戻るかわかりませんが、先のことを考えすぎず、できる範囲で規則正しい生活を意識して、一日一日を大切にしていきたいと思えます。

●一日も早く皆さんにお会いできる日が来ますように。



真野っ子さむ〜塾

■夏のサマ〜塾 冬はさむ〜塾のネーミングで冬休みの12月24日に開催しました。今回は、風作り、大空へ風を揚げましようという企画です。40名の募集に対し、60名超の応募がありました。

■制作場所は、参加人員、天候を考え小学校体育館です。

制作には、浜地区の瀬津敏一さんにご指導をいただきました。早速、風制作キットを徐に開けて、手順や細かい作業の説明を受けながら、フイフイと楽しそうに取り組んでくれました。真野小学校から先生方も駆けつけ、見学も兼ねて助っ人に参加協力していただきました。思い思いの絵や字を描き、何とか時間内に仕上げる事が出来ました。



■早速、運動場へ、絶好の風揚げ日和。「よう揚がるわ」と大歓声、もつと風が吹いて欲しいなと言いながら走り回って



いました。何よりも天候に恵まれたことが、さむ〜塾を後押ししてくれました。

■今回のさむ〜

塾のお楽しみはもう一つ、真野パイオニアサークルの皆さんによる「焼き芋」の振舞です。終了にあわせて真野市民センター前で焼き芋屋を開いていただきました。焼き芋の匂いに誘われて通りがかりの方が間違えて買い求めに來られるほど本格的な焼き芋屋風景でした。手作り風とホカホカの焼き芋のお土産付きで、今回のさむ〜塾も盛会のうちに終了しました。



アトシ ふれあいサロン

■コロナ感染が少し落ち着きをみせた12月にクリスマス会を開催しました。小さなサンタさんたちも登場し、みんなの笑顔もバッチリ！クリスマスソングもバッチリ短時間でたが、楽しいひと時を過ごすことができ、今年こそ、一日も早くコロナが収束し、たくさん笑顔と出会える日々を祈るばかりです。



レークパルス ふれあいサロン

■コロナの流行が続いています。当自治会のふれあいサロンも例年の行事が全て中止となり、全く寂しい状況です。そんな中、9月の敬老の日には、何とか感染対策をして、ふれあいサロンを実施しました。ただ昼食は避けて、来ていただいた敬老会メンバーにお昼の軽食と記念品をお配りしました。久しぶりに皆さんの元気なお顔を拝見することができました。

■来期こそは、コロナも収まり、従来のような楽しい雰囲気であふれあいサロンが実施できるよう期待しております。皆さんコロナに負けずに頑張りましょう。

お元気サロン開催中止に伴う事業費の有効活用<福祉事業所への支援金の交付>

■今年度は2回の開催を予定していた「お元気サロン」は、コロナ感染が拡大したことから、感染防止を優先するために中止をいたしました。

■このために、予定していた事業費を、新たな施策として高齢者福祉をはじめ地域福祉の推進に有効活用が出来ないか検討いたしました。

■幸いにも、真野学区には、「高齢者・介護」「子育て」「障がい児・者」へのサービスを提供する多くの事業所が活動されています。

■これらの事業所は、厳しいコロナ禍の中にあっても、担う役割を果たすために、懸命の感染防止対策を講じ、利用者へのサービスの維持と提供にご

尽力をいただけてきました。

■こうした取り組みにより、利用者やご家族に大きな安心と安寧を与えていただいた事業所に対し、コロナ感染対策の一助として活用いただくために「年末支援金」として交付をいたしました。

■今回の事業を契機に、学区社協との連携がより深まり、地域福祉推進の大きな力となることを祈念しています。

活動の
一コマ

真野地区民生委員児童委員協議会から

■今年も新型コロナウイルスの蔓延により、予定の行事の多くが中止や延期となりました。人のつながりが薄れ、楽しみや癒しの時間と場所が奪われています。一日も早くコロナ禍が収束し、以前の生活に戻ることを願っています。

■1月17日、真野幼稚園、三歳児、四歳児44名の園児と先生方で神田神社へ出かけました。とても寒い日でしたが園児たちはみんな元気いっぱいでした。



■園から神社までの道中は、春に備えて耕された田んぼ、そんな田園風景の中、行儀良く神社に向かいました。森に包まれ掃き清められた参道を通り、改築工事中の社殿前で記念



写真を撮りました。続いて仮殿と小宮さんで、神妙に手を合わせお参りしました。社殿が出来上がったなら、又来ようねと会話が弾みました。

各地区の

ふれあいサロン

浜 ふれあいサロン

■長い間のコロナ禍で「湖辺のサロン」開催計画が延期となっていました。12月13日参加者は少なかつたものの、コロナ対策を万全にして開催しました。滋賀県に1台の「コープ滋賀・キッチンカー」に来ていただきました。キッチンカーによる試食を楽しみにしていましたが、コロナのため残念ながら中止になりました。変わって食育に関する健康教育の有意義なお話を聞くことができました。

■続いて、福祉委員の考えた、椅子に座ったままできる体操やゲーム、〇×クイズなど、終始笑顔で楽しいひと時を過ごしました。短い時間でしたが、皆さんから感謝の言葉までいただき、色々準備の段階で心配はありましたが、開催できて本当に良かったです。又、皆さんに是非喜んでいただけるサロンを開催したいと思えます。その為にもコロナの収束を祈りたいと思います。



東浦 うべいす会

■「元氣やった?」「来られてよかったあ!」楽しみに待ってましたんや!」アスチクの中からこんな声が飛び交い、参加者が自治会館に集合。毎月第一水曜日の午後は、うべいす会の開催日です。



■東浦自治会内だけでなく近くにお住まいの方も楽しみに待っていてくださいます。コロナ禍でありましたが、感染状況の下火の夏から年末にかけて6回開催しました。もちろんアスチク着席、検温、消毒、お茶菓子なしの感染対策を徹底しました。

■キーボードに合わせて季節の歌、楽しい替え歌や歌謡曲などジャンルはありせん。新曲にも挑戦しますが、やはり青春の頃の歌は、心にしみてきます。それぞれの胸の中に、過ごしてきた青春がよみがえるのでしょうか。

■又、子どもの頃に流行した歌などは、懐かしい友の顔や、父、母の顔が浮かび、タイムマシンに乗ったようにその頃に戻れたりもします。手遊びや歌ゲームは必死に頭を使ったりで、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

■12月のサロンは、三味線奏者も加わり、三味線と言えは津軽、軽快な演奏が会場一杯に広がり、気分は爽快、良い一年の締めくくりとなりました。

お悩みごと、お困りごとは、
お気軽にお近くの民生委員児童委員に
ご相談下さい。秘密は守ります。

真野地区民生委員

担当地区	委員名	電話
駅西口、グローパル	笠谷 美保	573-5677
中村(北側)、レークパルス	川端 一平	572-1878
大野、佐川	小林登久子	573-9131
東浦、浜(東、北側)ルモン	島 将二	090-1138-9363
大野団地	中村 正夫	573-5892
谷口、中村が丘	野田 眞肖	573-0912
沢、北村、サカエ、アトシ	濱本 久夫	572-2723
中村(南側)	森 秀俊	572-1893
普門、家田	山本 實	573-4222
浜(西、南側)	和田 均	572-0857
真野地区全域(主任児童委員)	杉本加津美	572-2098
真野地区全域(主任児童委員)	向 奈津子	574-3842